

最終成果報告書

記録者：中嶋香代子 所属：岐阜県中津川市立蛭川中学校 記録日：平成 31 年 2 月 22 日

1. 基本的情報

(ア) 活動当初の目的やねらい

○目標 卒業後を見据え、自尊感情（やればできる！）をさらに高め、ひとりだちへの自信に繋ぐ。～継続して頑張ることのできる人生に～

① 高校進学を目指し、中学で学習する内容の 3 割程度、5 教科の合計を 150 点以上にする。

② 高校入学後も継続して学習できるように、困った時には自力で解決できる方法を習得する。

③ 総合学習「蛭川未来創生プロジェクト」では、最後の出口として地域に向けて提言を発信することにより、地域社会の創造に参画する喜びを味わう。

(イ) 活動を実施した期間 H30/6～H31/2/22

(ウ)(エ) 活動の実施者・対象児との関係

1. 中嶋 香代子 学校長

2. 担任兼数学教科担任・英語教科担任

2. 対象生徒

(ア) 対象生徒の事前の状況

中学 3 年生 15 歳

注意力の継続に困難がある。

- ・友達と同じ事をしたい。保育園から同じ 34 人しかいない集団の中でも、自分だけできないと思われる事は嫌がる。
- ・外からの音や動きに対して過敏に反応してしまうので、集中力が継続しにくい、徐々に継続時間が伸びてきている。
- ・URAWSS II で検査した結果、日本語の読み・書きに困難さは見られない。URAWSS-English は得点が低いので「日本語の読み書きに問題があるのではないかと、判定が出た。しかし、日本語の読み書きには問題がないことはわかっている。問題に出ている英単語を覚えていないのは、有効な定着の手段をもっていないからである。音声読み上げが有効と出ているので音声を使い、単語を覚えることから始める。
- ・細部まで形を認識することや、言葉からイメージを広げることが苦手である。
- ・小 3 より学習が定着していない部分があり、中学の学習内容が理解できないことが多かった。
- ・中学に入り、自主学習に毎日取り組み、自分では頑張っているつもりであるが、思ったように得点が伸びない。「自分はやってもできない。」と、家で悔し涙を流すこともあった。
- ・みんなと同じように高校へも進学したいと思っている。
- ・わからない事があると、すぐに周りの大人に聞いてしまい、自分から調べようとはしない。調べて自分の力で解決して欲しいと保護者は願っている。
- ・中 1 の時点での IQ は平均域であったにも関わらず、1 年終了時には 5 教科の合計が 100 点未満、数学は一桁の得点であった。

3. 活動内容と対象生徒の変化

「中学の学習内容の理解できていない部分が多い」 ことに対して

目標① 高校進学を目指し、中学で学習する内容の3割程度、5教科の合計を150点以上にする。

a. 学習に向かえるように環境を整備

① 6月 習熟度別少人数（一斉指導）

個別学習は昨年度の様子から本人が希望しないことを予想し、少人数での一斉指導を実施した。



・数学 合計3時間

1学期の期末テストに向け補充。

「ホントにわかる動画授業」を大画面テレビで視聴し、希望した生徒3人を担任が対話して指導をした。集中して取り組んだ。



・英語 合計2時間

1学期の期末テストに向け補充。

「NEW CROWN」のデジタル教科書を大画面テレビにて視聴する授業に参加した。



1学期末テストの合計 143点 「200点も夢ではない！」

② 7月（夏季休業中） 数学：英語の「ホントにわかる動画授業」視聴補充コース PC室使用



しかし、対象生徒は、このコースを希望しなかった。

自分で学習を進める教室での黙々学習コースを希望し、受験勉強用に学校で一括購入をしている「新研究」を使用し、自習するコースを希望し学習した。

③ 9月～11月 PC室での習熟度別少人数（個別指導）ノイズキャンセリング・iPad使用



実力テストに向けて 数学9時間 英語6時間



期末テストに向けて 数学11時間 英語7時間

・放課後を利用した補充学習（教室とPC室との選択制） 5時間 ノイズキャンセリング・iPad使用
部活動の時間に自習時間を1時間設けた。対象生徒は、PC室で理科の動画学習を選択した。

何が重要なのか、何を覚えればよいのかがわかるために

b. 学習補充動画

「ホントにわかる動画授業」

- ・わからない問題があった時、「ホントにわかる動画授業」を視聴して疑問を解消する。

(大画面 TV・デスクトップ型 PC

- ・ iPad を学習形態により選択して使用する)



デジタル教科書による指導

教科担任が「NEW CROWN」のデジタル教科書を使って指導した。



c. 学習補充アプリ 英語

英文を正確に書くことができるようにスモールステップで練習をした。



1. 英単語スペル



2. 早打ち英文法



3. てがき翻訳

Step 1 英単語スペル

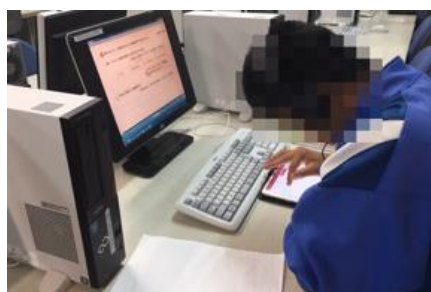
文字を選択し、スペルを覚える。

Step2 早打ち英文法

- a 『空所補充』を選択→文法を理解する。
- b 『スペル』を選択→スペルを覚える。
- c 『整序英作』を選択→語順を理解する。

Step 3 てがき翻訳

指文字入力の次に Apple Pencil で書き、感覚を鉛筆に近づけながら、形・空間を正確に読み取って日本語に翻訳してくれるまで書けるように練習する。



指文字で英作文を入力



Apple Pencil を使用

『てがき翻訳』使用時に「make」の過去分詞を「maked」と書いてしまったがために、「裸の (naked)」という思わぬ日本語翻訳が表示され、教師も生徒と共に笑い転げる場面もあり、熱中して取り組んだ。

数学



- ・数学の補充アプリ『数学検定』と『数学トレーニング』を使用。
指文字で書いて計算でき、誤答時に途中計算の解説が表示される。



英語や数学についても短期では理解しているが、**書いて確実に記憶し、解答を書けるようにしていく**ことが必要だと考えた。

そこで、**ホントにわかるシリーズの問題集** 中1・中2・中3の数学・英語・理科の問題集を渡した。

授業中の様子から

- ・選択式アプリでの学習では、3回繰り返すと正解できる。
- ・間違えた時には、必然性を感じ、解説をくい入るように見て、理解した。
- ・動画視聴だけでは、集中が途切れ、ボーッとしてしまう。
- ・学習補充アプリは重要語句は何で、何を覚えればよいのかが明確になっている点が良い。
- ・学習補充アプリの中でも、指文字、音声読み上げ、解説機能が付いているものが有効である。
- ・最初は選択式アプリを使用して覚えることもよいが、最後は正答が書けるような練習が大切。

モチベーションを維持し、より有効な手段を探るために

d. 定期的に見届け励まし

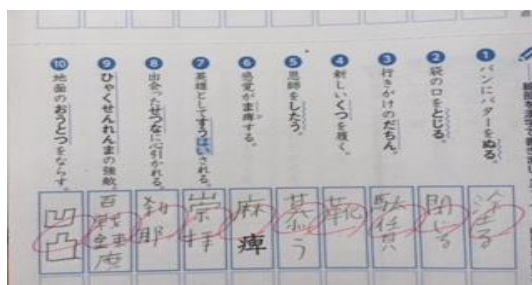
- ・PDCA サイクルの実施
4者面談→計画→学習→テストで検証



第1回 6月 期末テストに向けての補充学習方法の相談

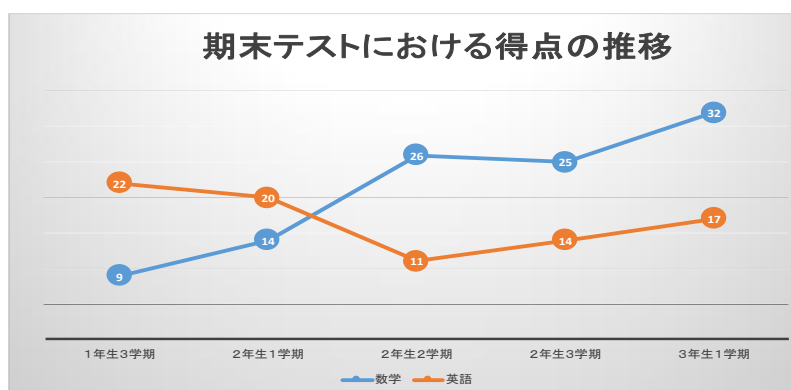
- ・今年度の計画を説明、承認。
- ・学校で少人数指導を実施することの承認。

- ・家庭学習で覚え、国語の漢字テストで
100点を取ることができた。



検証

1学期末テストの合計 143点 を取り、200点も夢では無いと周囲も本人も、自信をもった。



期末テストの数学の得点では、2年生の2学期末から20点台になり、3年生の1学期では、30点台に突入した。

一方、英語は、2年生の2学期末で一旦、下がった。その原因は、教科担任が1年生の時と交代し、授業やテストの傾向が異なること、2年生の2学期から、どんどん単語が増えることである。

第2回 7月 夏休みの家庭学習の計画の相談

夏休みの計画					
月日曜	ByTalk で報告	2時間		1時間	1時間 5
		社会(202)	数学(新)	数学(動画)	英語(動画)
7月20日	カード作成	1月20日(4/2)	1月20日(4/2)	1月20日(4/2)	1月20日(4/2)
21日	P204 1~32	(1)	1月21日(4/2)	1~5	1~5
22日	P205 ~47	(2)	7~12	6~9	①英単語スラッシュ
23日	P206 ~65	(3)	12~21	10~12	②早打ち英文法
24日	P207 ~167	遅い時間		13~15	③アガサ翻訳
25日	P208 ~202	(4)	22~24	16~18	
26日	カード作成(20から)	(5)	25~27	19~21	
27日	AN(2)	(6)	28~35	22~24	午前
28日	地理①	1月28日		25~26	新研究
29日	Flash	(7)	36~42	27~28	
30日	Card	(8)	43~48	29~30	午後
31日		(9)	49~54	31~32	動画

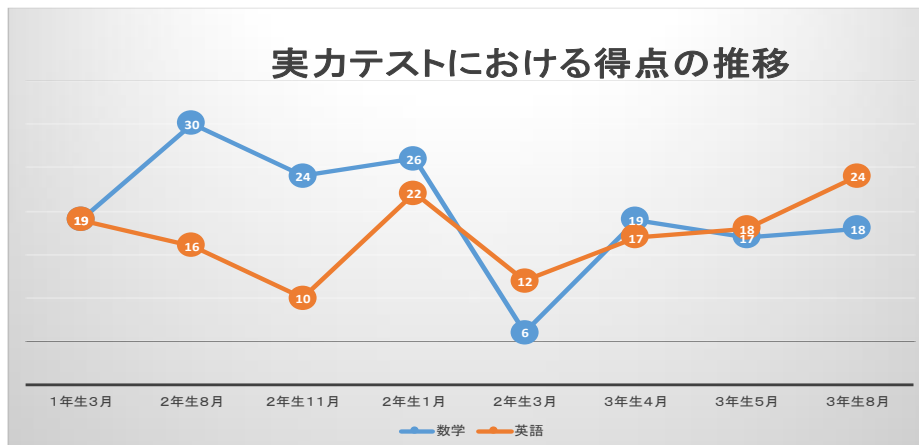
夏休みの家庭学習計画は、受験勉強用として学校が一括購入した「新研究」のA問題を社会1時間・数学1時間とし、「ホントにわかる動画授業」視聴を数学1時間・英語1時間とした。

「午前中は新研究をやって、午後からは動画を見た。毎日 3～4 時間はやったと思う。」
今までで、一番勉強をした夏休みを過ごした。



検証

・昨年度、対象生徒が中 2 の時からの実践である。よって、1 年生の 3 月の得点をスタートとして、実力テストと期末テストの 2 種類のテストの得点の推移をグラフで示した。



・実力テストにおける得点の推移は、期末テストとは異なり、英語の上向き傾向に気づく。2 年生の 11 月で下降したが、その後も直し、8 月の夏休み明けのテストでは最高得点となった。

一方、数学の得点は、2 年生の 3 月に下降したが、その後、3 年生になって復活傾向である。実力テストでは、期末テストほど直結してすぐに得点できるわけではないようだ。理解して覚えた内容に対して、短期記憶はよいが、次第に忘れていくのだろう。さらに復習を継続し、いつでも、確実に得点できるようにしたい。

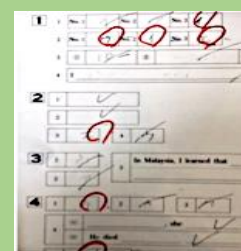
・3 年夏休みの「ホントにわかる動画授業」の視聴により、英語が伸びている事に驚いている。

1 学期に漢字テスト 100 点を 2 回取ることができていたので、英語も覚えることができるはずだと意欲的に取り組んだ。

その結果、記号で選択式の問題なら、解答できるようになっていた。

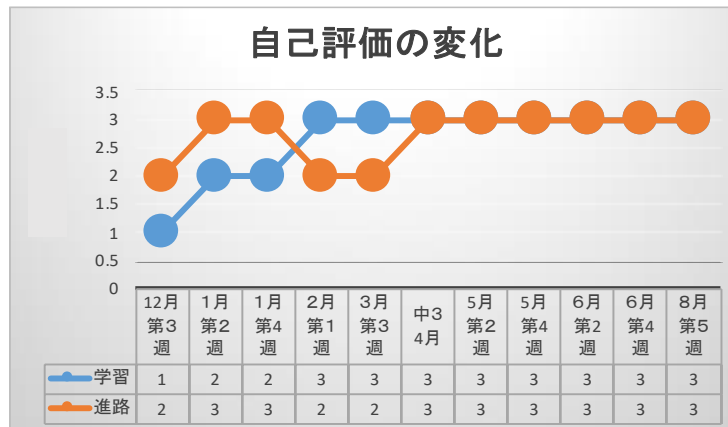
1. 2 年の文法を復習し、何となく理解し正答を選択できるようになったのではないかと推測している。さらに確実に書くことができるようにしたい。

・数学は、2 年生で取組の成果が出始め、3 年生になっても常時安定して得点できるようになった。



選択問題は○になった
英語の答案用紙

また、3 年生になり、さらに学習内容の難易度が上がり実力テストの出題範囲も広がっているにもかかわらず、安定して得点できているので対象生徒の数学の力が向上しているとも考える。



・自己肯定感を図る指標としている学習、進路についての意識は、次のように安定した評価3（この調子を続けたい）が続いている。

第3回 9月 実力テストに向けた家庭学習の相談

短期間で得点を上げるために

- ・社会、理科は学校で一斉購入教材「新研究」のA問題を学習する。
- ・国語は、「新研究」の古文を学習する。
- ・数学・英語は、休憩時間等に前述の「ホントにわかる動画授業」やアプリ「英単語スペル」「早打ち英文法」を使用して反復練習をする。



10月の実力テスト 159点！



しかし、これ以降

PC室で集中して取り組むが、11月上旬の実力テスト、11月下旬の2学期末テストの得点が学習時間に比例せず、思ったように得点が伸びなくなった。

「やったことがテストに出ない！」

基礎の補充しているのに、学習したことが実際のテストでそのまま出題されるわけではない。学校で使用しているワークの問題や、新研究の問題まで解けるようにしないと得点に繋がらない。

第4回 12月 冬休みの家庭学習の相談

「やってもできない。」と、意気消沈しているかと思っていたが、生徒の方が前を向いていた。

生徒のつぶやきから

「自分の（学力の）弱いところは捨て、できるところで頑張ればいい。

1週間ぐらい理科の勉強をして単元末テストを受けたら、30点ぐらい取れた。これは自分としてはよい点なので、理科はまだ得点が上がりそうだ。だから、理科の勉強を頑張る！」



・理科の「ホントにわかる動画授業」を視聴し、問題集に書き込んで覚えて行くようアドバイスをした。

英語や数学についても短期では理解しているが、書いて確実に記憶し、解答を書けるようにしていくことが必要だとアドバイスをした。

「どの教科も何となくわかってはいるので、あとは正確に書けるようにするだけだ！」

「わからないことがあると、すぐに周りの大人を頼ってしまう」ことに対して

②高校入学後も継続して学習できるように、困った時には自力で解決する方法を習得する。

a. 入学後も継続して学習できる動画サイト



いーぼーど

NHK
for
School

b. 文字入力は時間がかかるので、音声検索の方法もあることを助言した。

c. 学習補充アプリ



社会の教科担任に「最低これだけは覚えるとよい。」と新研究の最後のまとめのページに載っている220の重要語句を紹介してもらった。

そこで、アプリ「**フラッシュカードメーカー**」を使用し、重要語句とその説明を音声やキーボードで入力してフラッシュカードを作成した。

「親と一緒に作成をした。大変だった。」作成したことで重要語句の読み方を理解し覚えることができた。

d. 自分で学習補充計画を立て、振り返り改善する

授業計画を立て振り返る

11月1日 実力テストまでの授業計画表

月日曜	数学(動画)計画	英語(動画)アプリ	自己学習(数学)	英語
11/1	11/1	11/1	11/1	11/1
11/2	11/2	11/2	11/2	11/2
11/3	11/3	11/3	11/3	11/3
11/4	11/4	11/4	11/4	11/4
11/5	11/5	11/5	11/5	11/5
11/6	11/6	11/6	11/6	11/6
11/7	11/7	11/7	11/7	11/7
11/8	11/8	11/8	11/8	11/8
11/9	11/9	11/9	11/9	11/9
11/10	11/10	11/10	11/10	11/10
11/11	11/11	11/11	11/11	11/11
11/12	11/12	11/12	11/12	11/12
11/13	11/13	11/13	11/13	11/13
11/14	11/14	11/14	11/14	11/14
11/15	11/15	11/15	11/15	11/15
11/16	11/16	11/16	11/16	11/16
11/17	11/17	11/17	11/17	11/17
11/18	11/18	11/18	11/18	11/18
11/19	11/19	11/19	11/19	11/19
11/20	11/20	11/20	11/20	11/20
11/21	11/21	11/21	11/21	11/21
11/22	11/22	11/22	11/22	11/22
11/23	11/23	11/23	11/23	11/23
11/24	11/24	11/24	11/24	11/24
11/25	11/25	11/25	11/25	11/25
11/26	11/26	11/26	11/26	11/26
11/27	11/27	11/27	11/27	11/27
11/28	11/28	11/28	11/28	11/28
11/29	11/29	11/29	11/29	11/29
11/30	11/30	11/30	11/30	11/30

10月11日・11月1日 実力テストまでの計画

月日曜	ByTalk で報告	新研究・ホントにわかる動画授業・アプリ・テストの写真を撮り「暗記シート」で練習	社会	理科	国語(古文)	数学(動画)	英語アプリ
10/1							
10/2							
10/3							
10/4							
10/5							
10/6							
10/7							
10/8							
10/9							
10/10							
10/11							
10/12							
10/13							
10/14							
10/15							
10/16							
10/17							
10/18							
10/19							
10/20							
10/21							
10/22							
10/23							
10/24							
10/25							
10/26							
10/27							
10/28							
10/29							
10/30							
10/31							
11/1							
11/2							
11/3							
11/4							
11/5							
11/6							
11/7							
11/8							
11/9							
11/10							
11/11							
11/12							
11/13							
11/14							
11/15							
11/16							
11/17							
11/18							
11/19							
11/20							
11/21							
11/22							
11/23							
11/24							
11/25							
11/26							
11/27							
11/28							
11/29							
11/30							

「独り立ち」へのタイムリミットが迫ることに対して

③ 総合学習「蛭川未来創生プロジェクト」では、最後の出口として地域に向けて提言を発信することにより、地域社会の創造に参画する喜びを味わう。

蛭川中学校の総合的な学習の時間では、「蛭川未来創生プロジェクト」として、3年生では、地域を活性化させるために、その手法を修学旅行先の東京で学び、地域で活かせることを採り入れたプレゼンを作成し、6月の自治会サミットにて地域の方々との意見交流を行う。2月には「蛭川未来創生のための提言・私ができること」を地域の方々の前で提言するプレゼンをしてプロジェクトの出口としている。

・5月末

東京体験研修(修学旅行)では、Eナビシステムを利用し、事前にひとりで2種類の東京都内班別行動の行程表を班ごとに検索して入力し、当日はスマートフォンを使用して地下鉄を乗り継いで移動をした。1日目、表示看板を誰よりも速く見つけ、班の子に声をかけて指示を出すことができた。

また、東京ドームからの帰りを急遽早め、臨時で集合になった際には、まだ来ていない生徒を見極め、自分から探しに行く等、仲間のことを考えて行動できた。

・6月

6月の自治会サミットにて、東京体験研修で学んだことをプレゼンにし、総勢80人の前で4人グループで発表した。



このグループのテーマは、「蛭川の伝統文化を継承し、活性化するためには」
そこで、東京では江戸風鈴を取材した。

対象生徒の発表分担は、以下の内容である。取材した事実を文章にして発表した。

〇〇さんが大切にしている心は、面倒くさそうに風鈴を作っていたら、その気持ちはお客さんに伝わってもう来たくないと思われてしまうので面倒くさそうにしないということです。

働きがいはお客さんに喜んでいただいた時だそうです。時代の変化の対応の仕方では、東京は建物が多く、家と家との間が狭くなって来て風鈴をかけるところがありません。そこで道具を使って風鈴を壁にもかけられるようにしてありました。

江戸風鈴を作っている所は日本で2軒しかないの、「守っていきたい」のではなく「守っていかなければならない」という強い思いで話してくださいました。

・10月～1月

2月の提言発表会に向けて、「さらに地域を活性化するために自分に何ができるのか」について地域の方々から話を聞き、本やインターネットで調べながら追究した。

・2月 参観日に地域の方々に向け、3人グループの2番目に提言をした。分担は以下の内容である。

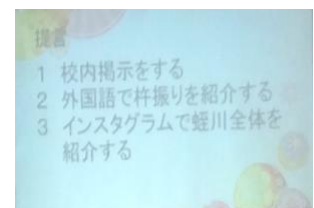
今の「杵振り」になるまでは、「杵振り」のやり方が変わってきました。

鬼や天狗は、今は背中に付けている羽を、昔は頭に付けていました。傘の模様なども花柄になったり、傘を横に5等分して色が塗られていました。

地域の伝統芸能である『杵振り踊り』に込められた願いは、作物の五穀豊穡、自然の恵みに感謝する、疫病を防ぐ、です。

取材を進めていくと、蛭川に住んでいる私たちがさえ知らないことがたくさんありました。杵振りをこれからも受け継いでいく私たちが正しい知識を知っておく必要があると思います。そこで私たちは、中学校にいる人に杵振りの歴史や杵振りにこめられた願いを知ってもらおうと、校内掲示をしたいと思い、ポスターの案を考えました。

そこで、僕たちはそこで「杵振り」の歴史とそこに込められた願いを知ってもらうために、ポスターを考えました。

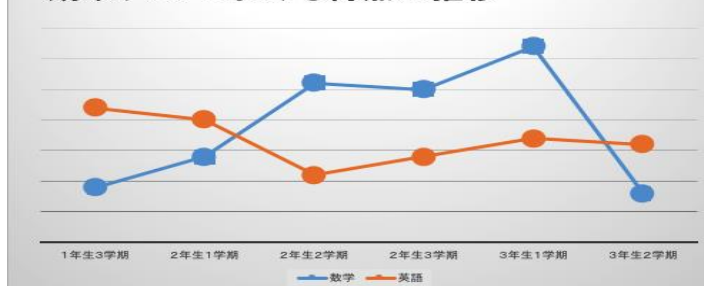


「逃げ出したかった
けど頑張った！」

4-1, 報告者の気づきとエビデンス

- ・ 数学は中学校でも短期間で上昇しやすいので、早い時期に手を打つほどよい。
- ・ 英語は、基礎を補充して半年を経てやっと少し効果が出てきたようだ。
- ・ 理科・社会は領域、単元による差が大きい。国語は漢字・古文は確実に得点に繋がる。

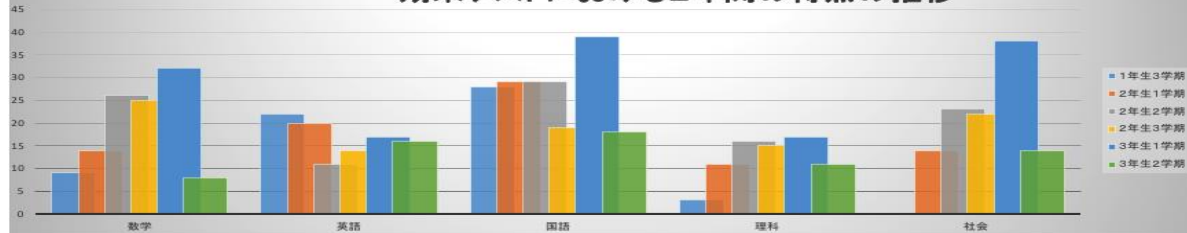
期末テストにおける得点の推移



期末テストにおける得点の推移

- ・ 数学は、すぐに得点が上昇し始めたが、3年生の1学期がピークである。
- ・ 英語は、他の4教科とは異なり、2年生の2学期に大きく下がったが、その後安定している。

期末テストにおける2年間の得点の推移



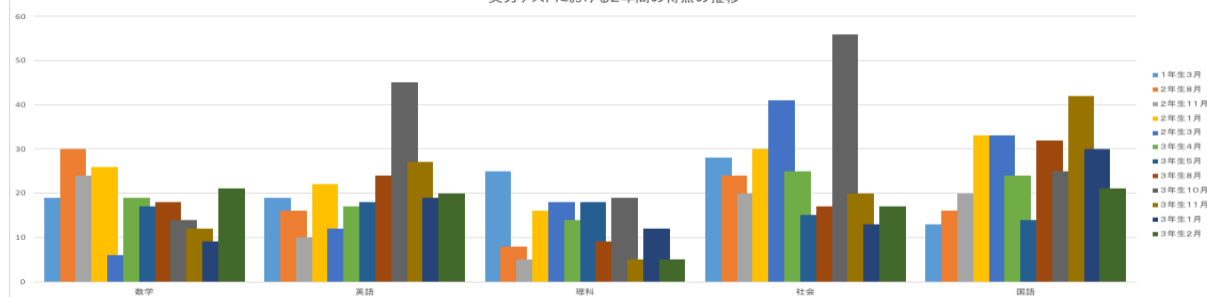
実力テストにおける得点の推移



実力テストにおける得点の推移

- ・ 数学は、2年生の3月が一番低くなったが、その後は期末テストほどの激しい変化はしていない。最後の2月になって、上昇した。
- ・ 英語は、2年生の11月以降、やや上昇傾向にある。
- ・ 理科・社会は、領域によって差が大きい。国語は上昇傾向。

実力テストにおける2年間の得点の推移



4-2, 報告者の気づきとエビデンス

- ・学習に困難さのある生徒が、ICTを活用することにより「自分でもやればできる！」という手応えを感じることができる。
- ・自分に自信がもてるようになると、自分の意思を表現できるようになり、自分の道を歩き始める。
- ・「ひとり立ち」をしてからも困らないよう、ツールの一つとしてICTの活用方法を身につけておくことは、継続して頑張る続けることのできる人生を実現可能にする。

1 2月の面談時

「友達が行くから自分も行きたい。」

- ・「なぜ、高校に行くのか。」この問いに対して答えられず、困ってしまった生徒であった。

この時、初めて中学の延長上に高校があるのではない、みんなが行くから行くのではないことに気付いたようだった。

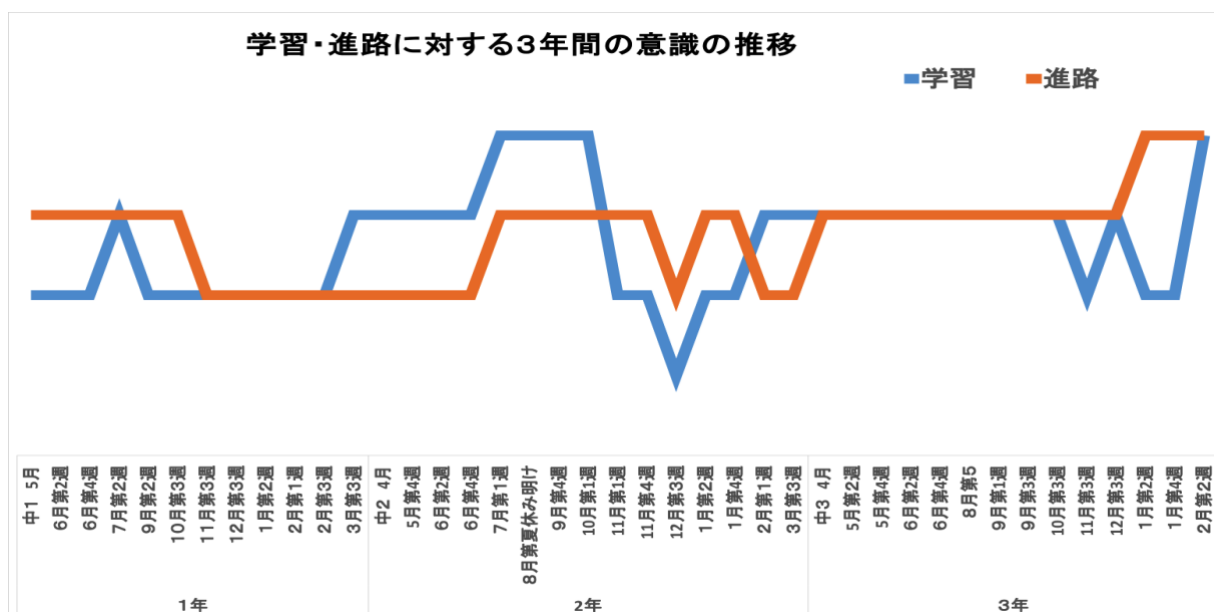
保護者が、「希望している高校は実業高校なので、レポート提出に厳しいこと、卒業後社会人として働けるようにする高校である。お前に適している高校なのか。」と、問いかける。

1月 自分で進路先を見つけ、高校単願を希望し、家族も説得して学校に報告してきた。

- ・「なぜ、その高校を選んだのか？」校長室での面接練習の時に私が質問した。

「一人ひとりに合った丁寧な指導をしてもらえると聞いたからです。そして、高校で頑張って、卒業後は、色々なことに挑戦してみたい。」

学習・進路に対する3年間の意識の推移



- ・中1の11月から学習・進路ともに、2（何とかしたい）が続いていた。
- ・中2で魔法のプロジェクトに参加してからすぐに学習に手応えを感じ、3（まあまあいい調子）夏から秋にかけては、4（この調子が続けたい）と、自信を付けた。
- ・中2の12月は、得点が伸びてきた自分に対して高い目標を掲げ、1（まだまだ）と思っている。
- ・中3では頑張っていたので3が継続し、得点が伸び悩んで学習は2になったが、進路は初めて上昇し、4になった。

誰に指示されたわけではなく、自分で探し、進路を選択すると、中学校生活で初めて学習も進路も4に上昇した。

そして、受験する高校の過去問題を、自分で探し出し、家庭学習で必死に取り組んだ。

遂に、生徒は意気揚々と自分の道を自分で切り拓き、歩き始めたのである。

「高校受験当日も頑張る！」
自分で決めた道は、自分で歩いて行く！



祝 合格！

2月21日、中学校最後の実力テストにおいて、下がり続けていた数学の得点がついに上昇した。

高校でも、継続して頑張りが欲しい。

～継続して頑張りが続けることのできる人生に～

※ みなさま、ご支援、温かいお言葉、ありがとうございました。